

# 大河内小だより

<http://www.okawachisho.com>



2023. 9. 1 NO.8

## 9月スタートしました

元気な子どもたちの声が学校に戻ってきました。9月から子どもたちが健やかに成長できるよう職員一同力を合わせてがんばってまいります。よろしくお願いいたします。



## 基本的な生活習慣の大切さについて

これから様々な仕事がAIに置き換わり、10年後多くの仕事がなくなっていると言います。将来子どもたちは、今ない未知なる仕事につかなければなりません。そうした不確かな時代を生き抜く力が今の子どもたちに求められています。

コロナ禍、今まで、当たり前のように過ごしてきた日常の生活が一変してしまいました。さて、このような社会状況の中では、人は時として気持ちが平常でいられないこともあります。普段なら何でもないようなことに気持ちが高ぶったり、落ち込んだりすることもあるでしょう。こんな社会状況の中、どんなタイプの人間が平常心を保ちながら生活できるのでしょうか？

以前、あるテレビ番組で作家の五木寛之さんの著書の一節が取り上げられていました。とても印象的でしたので、以下に紹介したいと思います。



たとえば、南極でテント生活をしていると、どうしても人間は無精になるしそういうところでは体裁をかまう必要がないから、身だしなみということはほとんど考えなくてもいいわけです。にもかかわらず、なかには、きちんと朝起きると顔を洗ってひげを剃り、一応、服装をととのえて髪もなでつけ顔をあわせると「おはよう」とあいさつし、ものを食べるときには「いただきます」と言う人もいます。こういう社会的なマナーを身につけた人が意外にしぶとく強く厳しい生活の中で最後まで弱音を吐かなかった、というわけです。これはおもしろい話だと思います。礼儀、身だしなみ、こういうことは極限状態のなかで

は最後に考えることのような気がします。しかし実際には、そういうなかで顔をあわせたときにきちんと「おはよう」とあいさつできるような人、「ありがとう」と言えるような人、あるいは朝、ほんのわずかな水で顔を洗い、ひげも剃って、それなりに服装をととのえ、そして他人と礼儀を忘れずに接するという、小さいときからの自分の生活態度をずっと守りつづけたようなタイプの人のほうが、おくつけき（おさくるしい感じがする様）頑強な熊のような大男よりも、かえって最後までがんばり抜いて弱音を吐くことがなかった、という。（「大河の一滴」 五木寛之：幻冬舎文庫 より）



「小さいときからの自分の生活態度をずっと守りつづけた・・・」とあるように、このような「当たり前」の生活態度を学校、家庭、地域と協力して子供たちに身につけさせることの大切さを感じました。是非、このような社会状況だからこそ、今後も、基本的な感染防止対策を徹底しながらも「挨拶」をはじめ、人とのコミュニケーションを大切に、あらゆる人、物、事に感謝をする心など、人として社会の中で生きていくために大切なことを育てていければと思います。

#### 9月行事予定

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	金	集会 PTA 本部役員会	17	日	
2	土		18	月	敬老の日
3	日		19	火	EST・SSW 来校 6年はにわ焼成
4	月		20	水	人権授業参観・講演会 集会
5	火	EST 来校 給食開始	21	木	
6	水		22	金	
7	木	司書来校	23	土	秋分の日
8	金	代表委員会	24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	ALT 来校
11	月	SC 来校 委員会	27	水	集会
12	火	ALT 来校 避難訓練	28	木	4年生プログラミング 出前授業
13	水		29	金	1・2年生社会見学(鳥羽水族館)代表委員会
14	木	司書来校	30	土	
15	金	なかよし班遊び・帽子可登校最終日			
16	土				

#### 10月当面の予定

- 2(月)～ 5(木) 個別懇談会希望者 14:45一斉下校
- 6(金) 前期終業式
- 10(火) 後期始業式 ALT 来校
- 11(水) 司書来校・後期なかよし班出会いの式
- 19(木)～20(金) 6年生修学旅行

